



インパクトアセスメントツール

モラル IT デッキ

「モラル IT デッキ」は、Lachlan D. Urquhart と Peter J. Craigon によって開発されたインパクトアセスメントツール “Moral IT-Deck” を日本語化したものです。

このツールは、科学技術が社会にもたらす様々な影響を、対話を通じて評価・検討するために用いることを想定して開発されました。

「モラル IT デッキ」(英語名: “Moral-IT Deck (Japanese version)”) は、オリジナル版 “Moral-IT Deck” を翻訳し、デザイン等に改変を加え、日本語化したものです。「モラル IT デッキ」(カードデッキやアセスメントボードなど) は、オリジナル版 “Moral-IT Deck” 同様に、クリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際ライセンス (CC BY-NC-SA) の下で公開しています。

“Moral-IT Deck (Japanese version)” © 2023 by Yusuke Shikano, Eri Mizumachi, Konomi Higo & Kohei Takeda. is licensed under CC BY-NC-SA 4.0



“オリジナル版 “Moral-IT Deck” は、Lachlan D. Urquhart と Peter J. Craigon によって開発・公開されています。

“Moral-IT Deck” © 2020 by Lachlan Urquhart & Peter Craigon.
Horizon Digital Economy Research Institute. is Licensed under CC BY-NC-SA 4.0



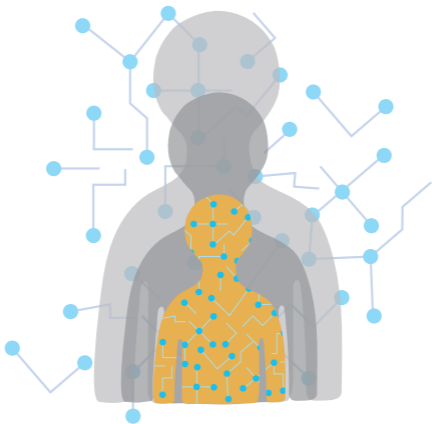
PRIVACY



The Moral-IT Deck

データの最小化

Limited Data Collection



取得するデータは最小限になっているか

データの越境移転

International Data Transfer



海外に送るデータをどう守るか

パーソナルデータ の管理の権限

Spectrum of Control Rights



どこまで利用者が管理できるか

パーソナルデータ 利活用の透明性

Transparency Rights



利活用に関する十分な情報が
提供されているか

パーソナルデータの の合法的な処理

Lawful Processing



どのように同意をとるか
どのように利用者の利益を保護するか

データセキュリティ

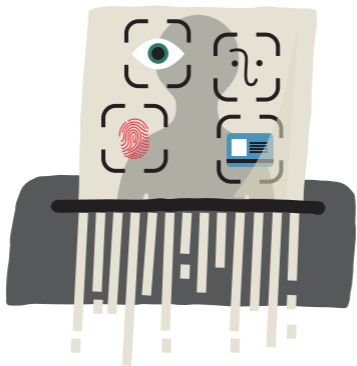
Data Security



想定外のことからデータをどう守るか

プライバシーの 責任ある扱い

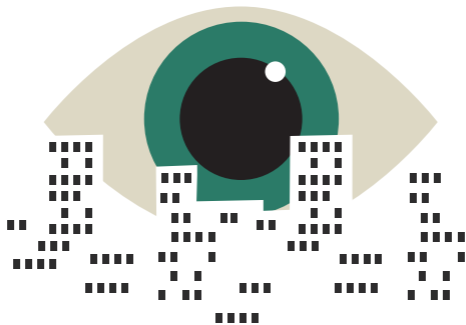
Taking Responsibilities



対応策を検討したか
プライバシー影響評価をしたか

公共における プライバシー

Privacy in Public



公共の場で情報収集する際に
プライバシーに配慮しているか

位置情報の プライバシー

Location Privacy



利用者の位置情報を
取得する必要があるか

パーソナルデータ に関する法令遵守

Compliance & Accountability



法を守っていることを利用者に説明できるか

センシティブな 情報

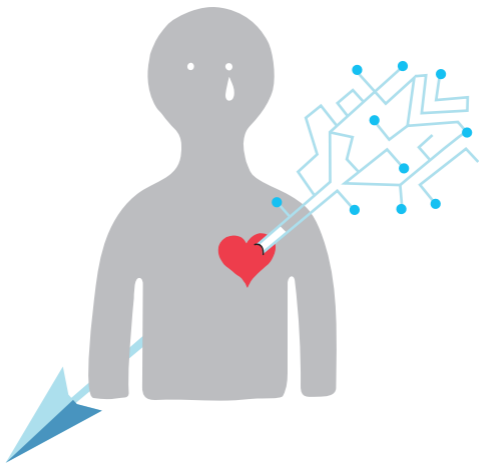
Special Categories of Data



センシティブな情報
(健康状態、信条、政治、出自、性的指向)
の取り扱いに注意しているか

尊厳の尊重

Privacy Virtues



利用者の尊厳を損なわないか

Blank Card



PRIVACY

Blank Card





ETHICS



The Moral-IT Deck

分かりやすさ

Legibility & Comprehension



理解しづらいものになっていないか

利用者の関与

User Empowerment & Negotiability



必要に応じて
利用者が自律的に選択することができるか

バイアス・先入観

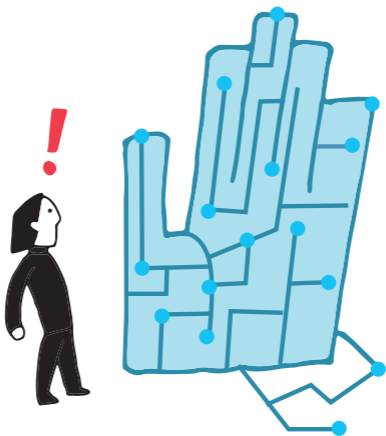
Overt Bias & Prejudice



特定の人々を差別的に扱っていないか

自律性

Autonomy & Agency



利用者は自分で自分のことを決められるか

信頼

Trust



人々から信頼されるために
どのような対策をしているか

透明性

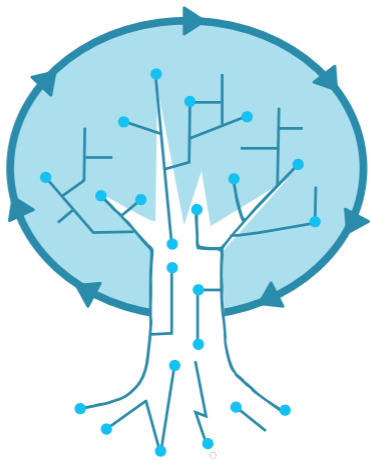
Meaningful Transparency



人々にその仕組みを説明できるか

サステナビリティ

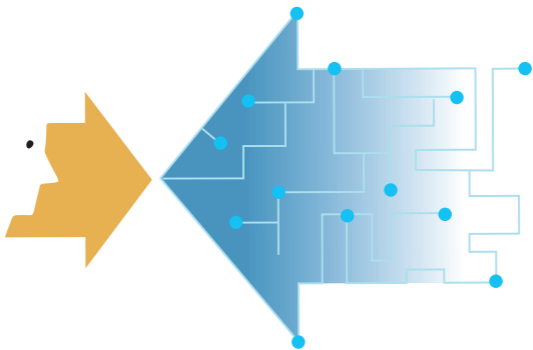
Sustainability & E-Waste



環境に対してどのような
悪影響があるか

不均衡な権限

Power Asymmetry



利用者とのパワーバランスが取れているか



10

公正

Fairness & Justice



公正・公平を実現するために
どのような対策をしているか

耐久性

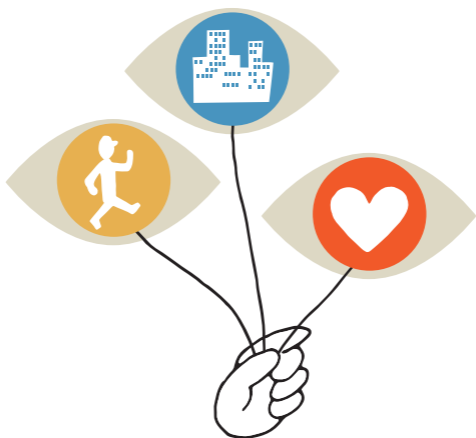
Temporality



長い目でみて、ずっと使い続けられるか

利用者の ウェルビーイング Wellbeing

12



利用者の暮らしがより良いものになるか

市民参加

Participation



人々の多様な意見が取り入れられているか

Blank Card



ETHICS

Blank Card



LAW



The Moral-IT Deck

環境保護

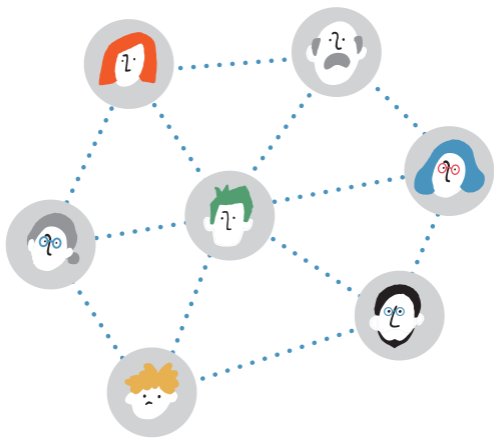
Environmental Protection



環境に対して
どのような配慮をしているか

アクセシビリティ

Accessibility



できるだけ多くの人が
使えるようにしているか

消費者の保護

Consumer Protection



人々を危害や差別から守ることができるか

法の支配

Rule of Law



誰もが同じ法や規制のもとで利用できるか

適正手続

Due Process



法の定める手続きから
逸脱した判断を防ぐ仕組みがあるか

リスクの最小化

Risk Minimisation



最も大きなリスクに対して
どのような対策をとるか

法的責任

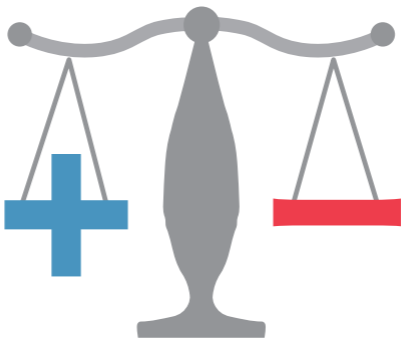
Liability



何か起こった時の
法的な責任体制を整えているか

比例性

Proportionality



リスクへの対処は適切であり
コストにも見合っているか



10

予防原則

Precautionary Principle



潜在的なリスクを事前に評価しているか

注意義務

Duty of Care



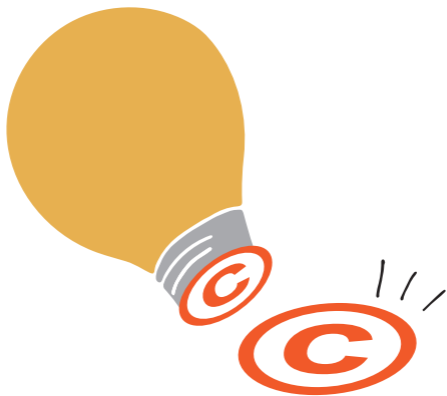
人々の暮らしを侵害する
可能性がないよう配慮しているか



12

知的財産権

Intellectual Property

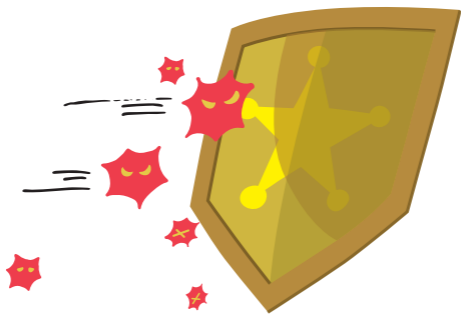


知的財産権を侵害しないために
どのような対策をとっているか



13

犯罪行為 Criminality



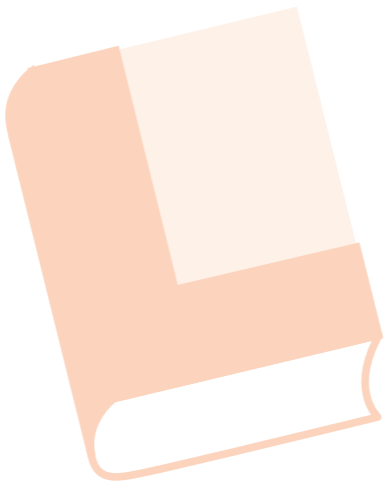
悪用・誤用されることをどのように防ぐか

Blank Card



LAW

Blank Card





SECURITY



The Moral-IT Deck

デジタル アイデンティティ の管理

Identities Management



複数のデジタルアイデンティティを
維持・管理できるようになっているか

難読化

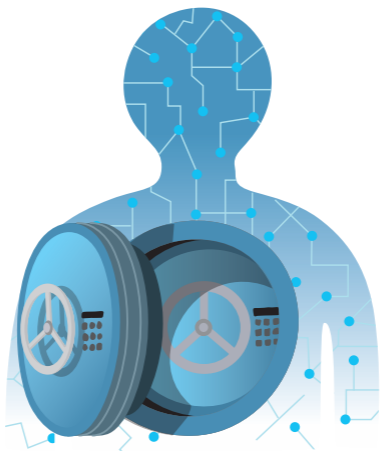
Obfuscation



デジタルアイデンティティを
どのように保護できるか

守秘

Secrecy



機密事項をしっかりと守ることができるか

信頼できる技術

Trustworthiness



利用者に安全だと信頼してもらえるか

秘密保持

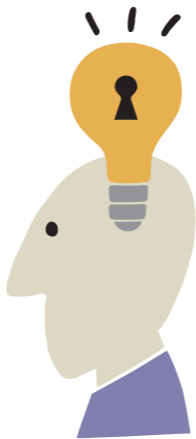
Confidentiality



秘密保持契約を守れるか

ユーザビリティの よいセキュリティ

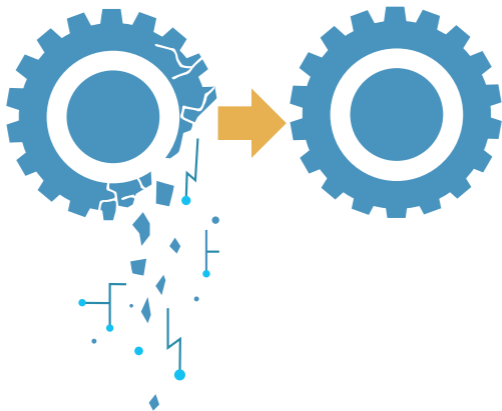
Usable Security



セキュリティ機能が使いやすいか

レジリエンス

Resilience & Low Redundancy



障害（予期しない脆弱性）に
どのように対処できるか

データ侵害の管理

Data Breach Management



データ侵害にいかようにも対処できるか

身体への安全性

Physical Safety



利用者は安全に利用できるか

技術に帰属する 影響への責任

Attribution & Responsibility



悪影響の責任を負う体制が整っているか

完全性

Integrity



(データに) 誤りや不整合がないか

誰もが使える セキュリティ

Secure for Whom



セキュリティ機能は誰にでも使えるか

Blank Card

SECURITY



Blank Card

